

小松島市人口ビジョン【改訂版】(素案)
及び小松島市まち・ひと・しごと創生総合戦略【第2期】(素案)
に対するパブリックコメントの実施結果について

- | | | |
|---|-------------|---|
| 1 | 意見募集案件 | 小松島市人口ビジョン【改訂版】(素案)
小松島市まち・ひと・しごと創生総合戦略【第2期】(素案) |
| 2 | 意見募集期間 | 令和元年12月25日(水)～令和2年1月17日(金) |
| 3 | 閲覧場所 | 市ホームページ
市秘書政策課(市役所3階) |
| 4 | 意見提出方法 | 郵送, ファクシミリ, 電子メール, 直接持参 |
| 5 | 意見提出者数 | 2名 |
| 6 | 意見提出件数 | 2件 |
| 7 | 意見の概要と市の考え方 | 別紙のとおり |

※ いただきましたご意見は, 一部, 主旨を損なわない程度に要約し, 適宜整理集約して, パブリックコメントの対象となる事項についてのみ考え方を示させていただきます。
すなわち, 素案に位置付けております4つの政策分類(まち・ひと・しごと・子育て)に関連のないご意見などにつきましては, 小松島市パブリックコメント手続要綱第9条第3項の規定により, 市の考え方をお示しできないので, ご了承ください。
なお, いただきましたご意見についての個別回答はいたしません。

意見の概要と市の考え方

No.	意見の概要	市の考え方・対応
1	<p>現在、高齢者の健康増進や介護予防を目的にサロンをボランティアで運営しています。また、このサロンは高齢者に限らずあらゆる世代の者が参加できるような仕組みにしており、地域共生社会の実現に向けて活動しています。主に、私の活動と直結しているところでの意見となりますが、施策 9 と施策 14 に関しまして述べさせていただきます。</p> <p>地域の中には地域のために積極的におもしろいことに取り組んでいる方々がたくさんいらっしゃいますが、個々がばらばらであり、このような地域資源、人材を市が把握しきれていないように思います。個々の力は非常に弱く、単体が地域のために活動するにも限界があります。せっかく、小松島には有能な人材がいるわけですから、まずは市が人材・資源を把握し、それらが集まって新しいものを生み出せていくシステム・仕組みを市が全力で応援することが先決だと考えます。プランはあっても、結局それを誰がどのようにどの財源を使っていう具体策が欠如しているために話がいつこうに進んでいない印象を受けます。特に施策 9 と施策 14 に関しましては、専門職としての立場からも強く感じます。</p> <p>「頑張っている人を全力でバックアップする」これができれば、小松島は変わっていくのではないのでしょうか？</p>	<p>今回策定予定の「小松島市まち・ひと・しごと創生総合戦略【第 2 期】」で政策分類 1 の施策 9 や施策 14 に掲げております、高齢者の健康増進や介護予防施策につきましては、第 1 期計画期間中に、市が地域資源となる人材の発掘、またその人材と連携できるよう生活支援コーディネーターの配置、高齢者サロンの推進、住民主体の取組である 100 歳体操の推進などにも力を入れてきました。しかし、ご指摘の通り、地域資源となる人材の発掘や取組についての連携ができていない部分が多くあることも確かです。</p> <p>ご意見いただきましたように、地域の実情に応じて、市民一人ひとりが、住み慣れた地域社会で豊かに暮らす環境を整えることが行政の役割であると認識しております。</p> <p>このような認識のもと、第 2 期計画では、政策分類 1 の施策 9 でフレイル対策等など高齢者の健康増進への一体的な支援を、また施策 14 では地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源がつながる地域共生社会の実現を新たな施策として取り入れています</p> <p>いただいたご意見を参考に施策を推進してまいりますので、今後ともご協力よろしくお願いたします。</p>

2	<p>小松島の町は、海に面し、その良好な自然条件を生かし、港町として発展してきましたが、四国の関西への玄関口としての役目を終え、今、新しい海の役割を模索しているところです。</p> <p>現在、数千年の歴史を持つ櫓漕船（ろかいぶね）の手こぎ文化を失って久しいのですが、この文化を復活させ、いじめやひきこもりを解消し、健全な社会をつくる一助とすることが可能です。小舟を自力で操作することで、本人の体力増進はもとより、乗船者への優しい気配りが求められ、一石二鳥です。櫓漕ぎ操作をマスターするには、押しで引く単純動作ながら、数か月かかると言われています。古来からの日本文化の特徴である守・破・離の精神継承のためには、一生の仕事にすることもできるでしょう。海上交通の一手段となるので、安全で安心な鍛錬の場を必要とします。そのためには、国や県の助力を仰ぎ、港湾計画を見直し、不用不急の港湾施設の中から、適切な練習場を確保してはいかがでしょうか。</p>	<p>今回策定予定の「小松島市まち・ひと・しごと創生総合戦略【第2期】」におきましては、政策分類4の施策5で未来を担う子供たちの「生きる力」を育み、21世紀を生き抜く力の育成を支援する施策を掲げております。</p> <p>また、政策分類2の施策6では地域の将来を支える人材の育成を目指す新たな施策を盛り込んでおり、生まれ育った地域の伝統や文化への理解を深め、地域の発展に尽くした先人の生き方などの学習に積極的に取り組むことにより、郷土を誇りに思い、大切に作る心の育成に努めることを目指しております。</p> <p>ご提案いただきました内容は、郷土の伝統への理解を深め、「生きる力」を育む取組の一つとなる可能性はあると思いますが、現状では事業化を想定しておりません。</p>
---	---	--